

# 学校だより



令和4年12月23日

横浜市立二谷小学校

校長 矢島 孝幸



「寅年から卯年へ飛躍の年に」



副校長 西 かおり

あっという間に2022年から2023年へバトンタッチをする時期になりました。(毎年、「あっという間」と言っているような気がします・・・) 2022年は寅年でした。しかも「五黄の寅」と言われ、36年に一度の運気が強い年だそうです。厳しい冬を乗り越えて新しく立ち上がるために動き出す一年になるという意味があるそうです。2022年を振り返ると、学校のインターネット環境が整い、学習でタブレットを活用する機会を増やしたりオンライン授業を行ったりすることができました。また、全校児童が集合して朝会をしたり運動会をしたりすることもできました。2023年以降の活動に向けて、コロナ禍前と同等の活動や新たな活動に取り組むことができた年になったといえます。それでは、2023年はというと、「卯年」です。卯年は、新しいことに挑戦するのに最適な年、飛躍、向上する年だそうです。わくわくしますね!先日、大学の教授が、ある講演で話されていたのですが、すでに大学ではアバターによる授業を取り入れているところがあるそうです。メタバースの開発も進んでおり、授業をメタバースで行うことも技術的には可能なのだそうで、もしかしたら近い将来……。アニメや映画の中でしか見たことがなかった世の中が目の前まできているのですね。どんどんデジタル化が進んでいく中、未来を見据えながら今の子どもたちにできること、学校でできることに取り組み、子どもたちが飛躍できる年にしていきたいものです。

さて、冬休み前の数日間、お子さんがたくさんの荷物を抱えて帰宅されたことと思います。教室では片付けに合わせて机の中やロッカーの大掃除をした学級もありました。昔から年末は大掃除をするご家庭が多いと思いますが、いかがでしょうか。私の実家では老齢の母が一人で暮らしているため、一緒に大掃除しようと話したところ、「日頃からうちはきれいだから大掃除の必要なし!」と言われました。そこで、ふと、なぜ昔から年末になると大掃除をするのかな?と思い調べたところ、昔、行灯を使っていた時代は、その行灯や囲炉裏を使うことで家の中に煤(すす)がたまっていたそうです。そこで、12月13日にお清めをした竹を使って煤を払い、新年に神様を迎えるための準備をしたのだそうです。つまりは、年末にきれいかどうかというよりは、新年を気持ちよく迎えるために掃除をするということのようですね。近年では、家庭によっては毎日お掃除ロボットが活躍していたり業者さんに依頼したりすることもあるかもしれませんが、きっと子どもたちの机の中や棚の中まではお掃除できないと思います。気持ちよく新年を迎えるためにも、自分の物は自分で片付けるという習慣づけのためにも、学校から持ち帰ったものを片付けたり掃除をしたりするようお子さんに声掛けしていただけたらと思います。環境を整えることで、頭も心もすっきりさせて大きく飛躍する年にしてほしいです。

最後になりましたが、学校評価アンケートの回答へご協力いただきありがとうございました。結果につきましては、2月の学校説明会にてお伝えします。結果を基に改善を図っていききたいと思います。

2023年もどうぞよろしくお願いいたします。

